

第 10 回熊本県高校生ものづくりコンテスト

ー測量部門の審査員を引き受けてー

外村隆臣

環境建設技術系

1 はじめに

熊本県高校生ものづくりコンテストは、工業系学科及び総合学科に学ぶ高校生に努力目標を与えることにより、ものづくりに関する技術・技能の継承と向上を図り、産業の発展を支える人材の育成を目指すとともに、県民のものづくりへの関心を深め、技術・技能を尊重する社会的気運の醸成を図ることを目的として開催される。熊本県大会において優勝すると九州大会へ、さらに九州大会で優勝すると全国大会へと進むことが出来る。今回は第 10 回熊本県高校生ものづくりコンテストの測量部門の審査員を引き受けて参加したのでその報告をする。

2 高校生ものづくりコンテストの内容

熊本県大会は平成 25 年 6 月 15 日、16 日に開催された。熊本県大会の競技種目は旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量の 7 部門である。15 日に競技説明、抽選、会場下見等があり、16 日に開会式の後、競技が始まる。測量部門の競技内容はトータルステーションを用いた「閉合トラバース測量とその計算」で、5 角形トラバース網の内角と測線長を測定し、計算書を作成する。午前中に外業・内業を行い、午後から審査を行う。測量部門の参加校は 6 校で、1 校 3 名（1 校 1 チーム）である。審査は競技に要した作業時間や測量の精度、計算書の完成度などについて全国大会の採点基準に準じて審査を行う。競技後、審査員からの講評を行い、閉会式で上位入賞校（入賞者）の発表と表彰式が行われる。

3 まとめ

参加した高校生達は大会に向けて日頃より練習を積んできており、競技中は高い測量技術を見ることができた。全体的にレベルが高く、上位のチームは高得点を出し、大差のない結果となった。緊張のためか初歩的なミスも見受けられたが日頃の練習の成果を発揮できたのではないかと思う。大会の結果等は <http://sakura1.higo.ed.jp/sh/tamanath/mono-kumamoto/index.html> に掲載されている。

前大会に引き続き測量部門の審査員として参加した。熊本県大会の審査員は全部門合わせて 15 名で、測量部門は私 1 人であった。このような大会の審査員を受けることができ、技術者として非常に光栄である。競技後の講評では、業務上、普段から測量に携わる機会が多いため、自身の経験を踏まえた講評を行うことが出来た。今後も機会があればこのようなイベントに積極的に参加したい。